

令和8年度 宇都宮大学

一般選抜 学生募集要項



● 宇都宮大学の一般選抜の出願は、インターネット出願方式で行います。

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

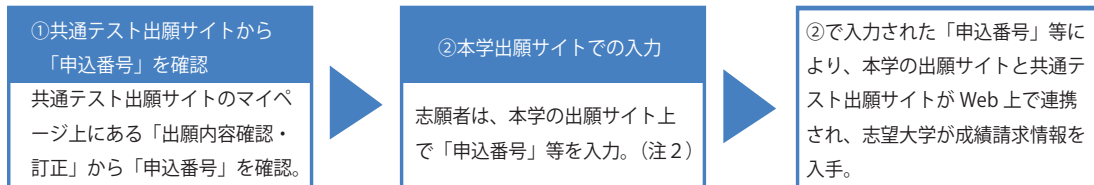
出願登録・入学検定料・必要書類等の詳細は、必ず学生募集要項で確認して、不備のないように出願してください。



● 共通テストの成績請求情報の提供手続は、Web方式で行います。

出願サイト上で「申込番号」等（注1）を入力することで、本学の出願サイトと共通テスト出願サイトがWeb上で連携され、大学入試センターから本学に成績請求情報を提供する方式です。

【手続きの流れ】〔STEP 3 出願内容の登録〕における手続きです。



（注1）「申込番号」等とは、共通テスト出願サイトの「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」のことです。

なお「申込番号」は、出願後であれば随時確認できます。

（注2） 共通テスト出願サイトの「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」は、連携のための認証のみに使用され、本学には提供されません。

STEP 1 1 ✓	事前準備 インターネットに接続されたパソコン、カラープリンターなどを用意してください。 必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。 パソコン等の推奨環境は27ページを参照してください。 
STEP 2 2 ✓ ✓	出願サイトにアクセス インターネット出願サイトURL https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/  画面の手順に従って、必要項目を入力してマイページ登録を行ってください。 なお、マイページの登録がお済みの方は、「ログイン」ボタンからログインし、STEP 3に進んでください。
STEP 3 3 ✓ ✓ ✓	出願内容の登録 ① 画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。 ※出願内容登録完了後、受付番号（12桁）は必ず控えてください。 出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。 受付番号メモ ② 入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えた上、通知されたお支払い期限内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。 出願内容登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。 詳細は29ページ(9)受験票の印刷を参照してください。  出願内容登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いが完了します。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

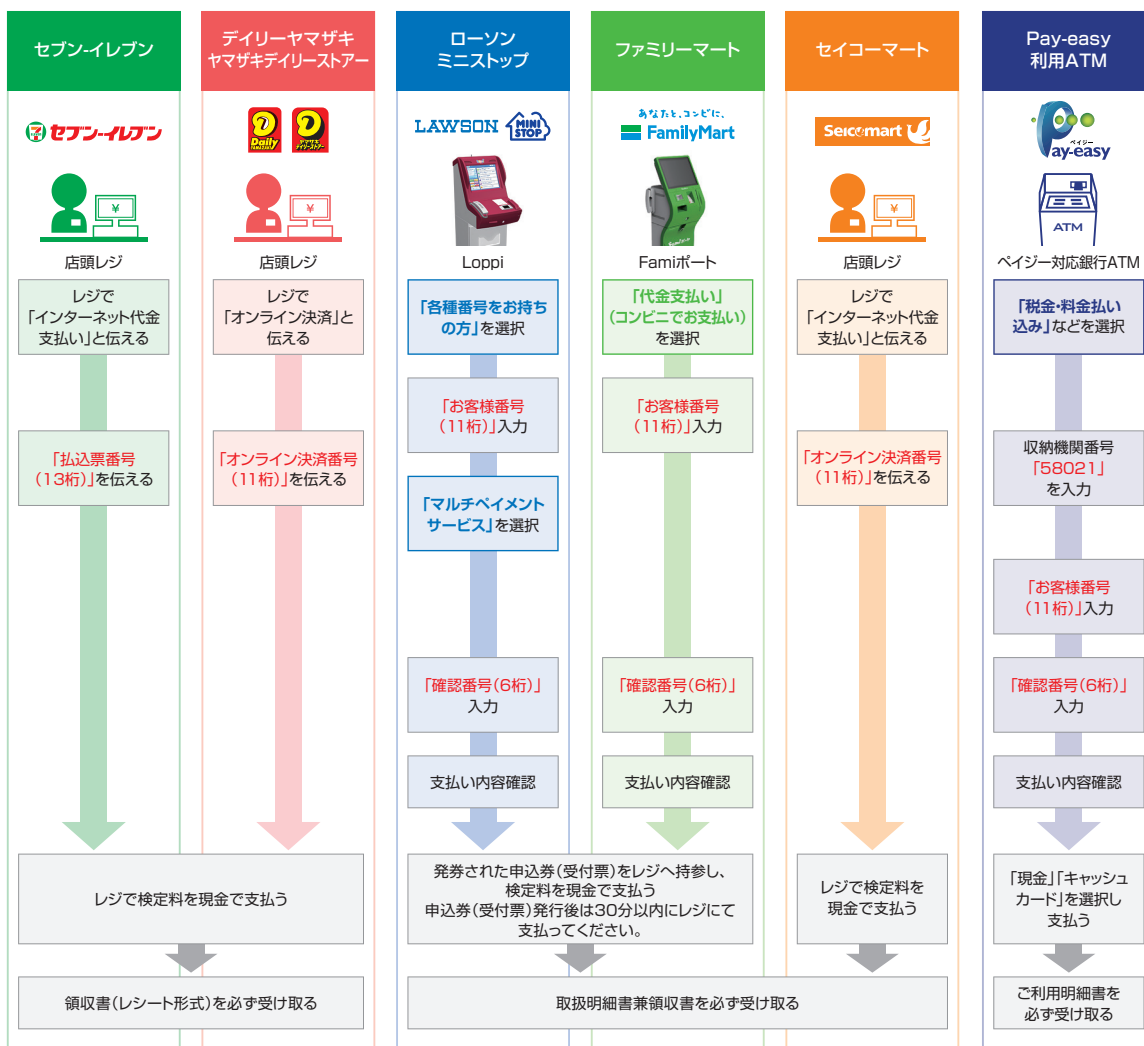
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

5

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。

インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも高校等に請求いただく書類や本学のホームページから様式をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は下記を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払期限は出願締切日15時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は学生募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。

メールが届かない場合でも、2月13日(金)以降にインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**個別学力検査当日に持参**してください。

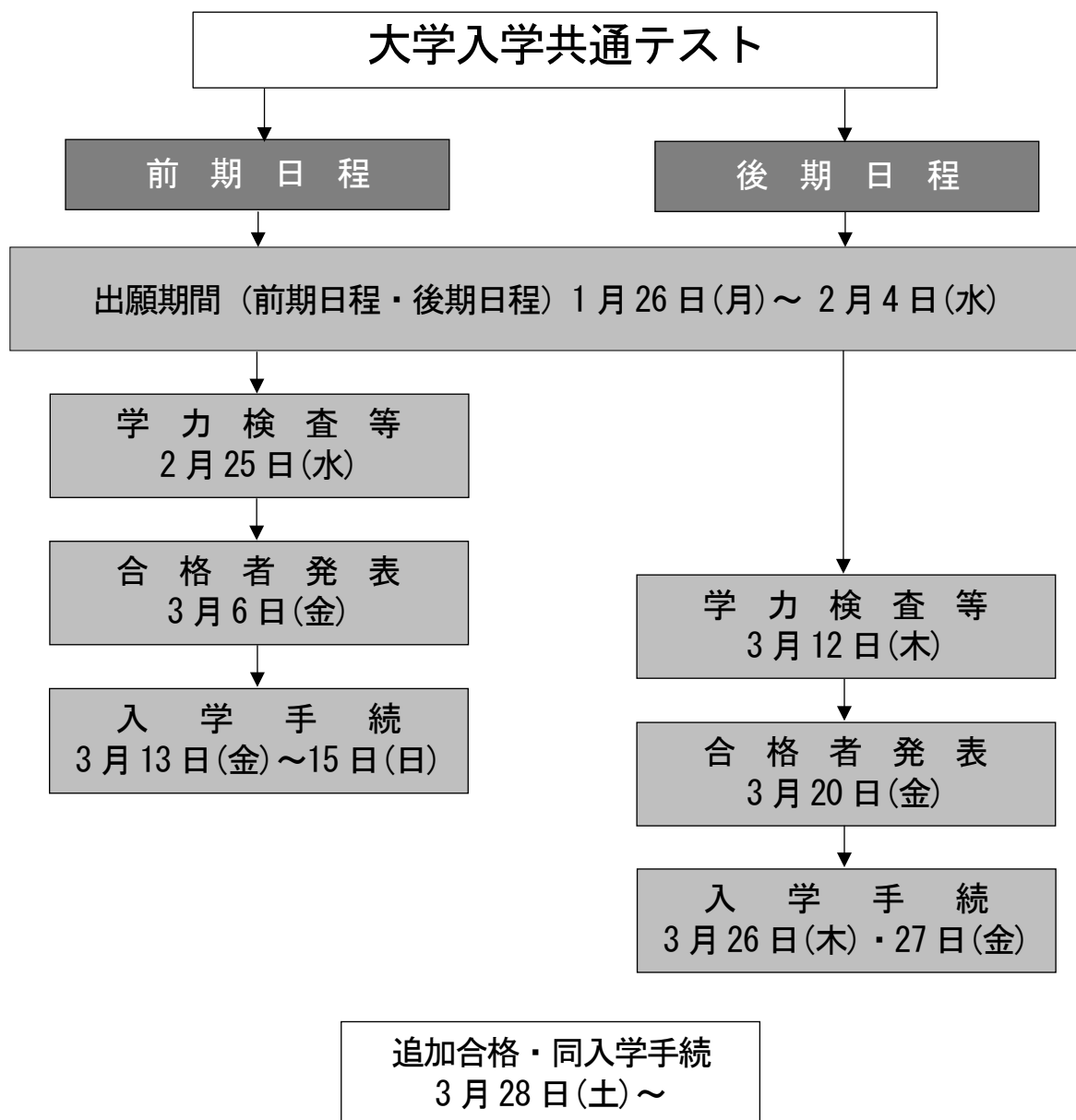


選抜区分	出願期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限 (必着)
一般選抜(前期日程・後期日程)	令和8年1月26日(月) ～ 令和8年2月4日(水)	2月4日(水) 15時	2月4日(水) 17時

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、29ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

宇都宮大学一般選抜の主要日程（前期・後期）



個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出していただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針、教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	24
4	出願資格	25
5	出願上の留意事項	25
6	出願手続	
	(1) 出願方法	26
	(2) 出願期間	26
	(3) 提出方法・提出先	26
	(4) 入学検定料について	26
	(5) 事前準備	27
	(6) 出願書類等	28
	(7) 出願書類等に関する注意事項	29
	(8) 入学検定料免除について	29
	(9) 受験票の印刷	29
7	大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】	30
8	疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	31
9	選抜の方法及び個別学力検査等の日時	
	(1) 選抜の方法	31
	(2) 個別学力検査等の日時	31
	(3) 個別学力検査等の時間割表	32
	(4) 入学者選抜の実施教科・科目等	34
	① 入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	36
	② 共同教育学部実技検査の内容	42
	(5) 検査場	43
10	受験上の注意	
	(1) 個別学力検査当日の注意事項	45
	(2) 個別学力検査時間中の注意事項	45
	(3) 不正行為	46
	(4) その他の注意事項	46
11	入試過去問題の使用について	47
12	合格者発表	47
13	入学手続	
	(1) 手続期間	47
	(2) 入学手続方法	47
	(3) 提出書類等	47
	(4) 入学手続時に必要な納付金等	47
	(5) 入学後に必要な諸経費	48
	(6) マイナンバーカードの使用について	48
14	追加合格	48
15	欠員補充第2次募集	48
16	受験時の宿泊案内について	48
17	志願状況・合格状況等の情報提供について	49
18	令和7年度一般選抜の成績情報提供	50
19	令和8年度一般選抜の個人成績等の開示	51

1 宇都宮大学の理念と方針、教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自ら変えようとする力

【協働力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力
多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

データサイエンス経営学部は、データサイエンスと経営学を総合的に学び、データから価値のある情報を抽出するデータサイエンス力、経営学的視点から課題とその解決策を見つけ出すマネジメント力、データサイエンスと経営学の知識とスキルを、課題解決や意思決定、価値創出に活用できる社会実装力の3つの力を有する次世代人材を育成します。また、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を身に付けた学生に「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を育成するための3つの分野からなるカリキュラムを提供しています。数理・データサイエンス科目では、数学・統計学・情報学などを学ぶとともに、機械学習やAIを活用してデータから価値ある情報を抽出する力を養います。経営学科目では、組織などの構造を理解し、経営学的な視点で課題と解決策を見つけ出す力を養います。総合・社会実装科目では、データサイエンスと経営学の知識と技術を活用して社会に実装する力を養います。カリキュラムは基礎的な内容から専門的な内容へ段階的に学修できるように構成されています。	多様化・複雑化した課題を、データを基にして科学的に分析するための、データサイエンスに関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、多様な組織において経営学的視点から課題を見つけ出し、状況に適した柔軟なマネジメントを行うための、経営学に関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、組織の中でデータサイエンス及び経営学の複眼的な視野を持って、多様な価値観を持つ人と協働して課題を解決するためのコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、経営課題やそれに関連するデータを体系的に整理し論理的に思考する力、課題解決に向けて主体的に行動できる力が必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

データサイエンス経営学科では、理系的な知識と文系的な知識の両方が必要です。高等学校の教科・科目の学習を通して、文系・理系双方の基礎知識をバランスよく身に付けてください。論理的な考え方が重要なので、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てた考え方ができるように心がけてください。経済、経営、データ分析、情報技術などの話題について、教科学習や日常生活の中から関心を向けてください。また、課外活動などを通じて、多様な価値観を持つ人と協働する力を身に付けるために、積極的に自分の考えを人に伝えるようにしてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人
- ② 物事を論理的に考えることができる人
- ③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人
- ④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人
- ⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人
- ⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、思考力を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等（面接）の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、コミュニケーション能力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。
総合型選抜 A (一般)	大学入学共通テスト、論述試験、面接及び出願書類により選考を行います。基礎学力、論理的思考力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆☆	☆☆			
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接		☆☆	☆☆☆	☆☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	A（一般）	大学入学共通テスト※1	☆☆☆					
		面接		☆☆	☆☆☆	☆☆☆		
		論述試験	☆	☆☆☆	☆☆	☆☆☆		
		出願書類（調査書）	○					

※1 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。また、日々の生活を送り、読書をし、新聞を読み、メディアを視聴する際にも、地域社会の課題を発見し、その課題解決の方法を見いだすように努力してみてください。そしてその成果について、ぜひ友人、家族、先生、身近な人などに、分かりやすく伝えてみましょう。そうした考えに対する他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて、協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験し作り出すことを期待しています。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
- ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
- ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を基に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜 A (一般)	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生 選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。 小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆		
		小論文	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	☆	☆☆
		面接	☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	A(一般)	大学入学共通テスト(注1)	☆☆☆		☆☆	☆		
		グループディスカッション・面接	☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
		活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆		☆☆☆		☆☆	
私費外国人 留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆		☆☆	☆		
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆	☆		
		面接			☆☆		☆☆☆	
		小論文			☆☆☆		☆	☆☆
		出願書類(成績証明書等)			○			

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び一級建築士の国家資格取得に向けた素養を身につけるとともに、先端技術や少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策等を学び、現代の社会課題の解決に応用する力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が得られるカリキュラムです。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。	建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
- ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
- ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査では広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を重点的に評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
私費外国人留学生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学および理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆			
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	A(一般)	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		造形実技	☆☆		☆☆☆			
		出願書類(調査書)			○			
私費外国人 留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身につけるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、道路や鉄道、河川、港湾などインフラ施設や社会基盤をデザインする人材の成長のきっかけとなることを目指した内容になりますが、その多くが主体的に学ぶ姿勢が重要になります。皆さんが学習を通して習得する基礎力とともに、入学後に学ぶ社会基盤整備への関心と社会貢献への高い意欲を持つことを望みます。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---------------|--|
| 入学時に必要な能力や適性等 | ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人 |
| | ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人 |
| | ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人 |
| | ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人 |
| | ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人 |
| | ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション能力が身についている人 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主眼的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤（インフラ）に関するあなたの考えを問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。
私費外国人留学生 選抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		面接	☆☆				☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

- (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

国際学部 国際学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）（1年次）、多文化共生基礎科目（1～2年次）からグローバル実践力基礎科目（2年次）、専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。	多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書および口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会的文化的事象に対して幅広い知識と関心を持ち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。上記のことに加え、学習活動などを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人
- ② 多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人
- ③ 学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人
- ④ 多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
- ⑤ 多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
- ⑥ 世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに願書類(調査書)を総合して選抜を行います。広範かつ基本的な知識、それを活用した国際的な社会的文化的事象についての思考力・判断力・表現力、本学科での学修に必要な基礎的な外国語運用能力、主体性等をみることに主眼をおきます。
学校推薦型選抜	願書類(調査書、自己推薦書等)と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、国際的な社会的文化的事象に関する課題を理解し、知識を活用して導き出した自分の考えを自分の言葉で語ることで表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 B (帰国生)	願書類(成績証明書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、帰国生としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 C (社会人)	願書類(志望理由書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、社会人としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 D (外国人生徒)	願書類(志望理由書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、外国人生徒としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	願書類(成績証明書等)、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。大学で学ぶための基礎学力を重視し、日本留学試験では「日本語」「総合科目」「数学(コース1)」を評価対象とします。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、論理的に考察する力、日本語を正確に理解し、表現する力、これまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		小論文	☆☆☆	☆☆				
		出願書類(調査書)				○		
学校推薦型選抜		面接	☆		☆☆☆		☆☆☆	
		英語外部試験	○					
		出願書類(自己推薦書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		英語外部試験	☆☆☆			☆		
総合型選抜	B(帰国生)	面接	☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆	☆	
		出願書類(成績証明書等)				○		
		英語外部試験	☆☆☆			☆		
	C(社会人)	面接	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆	☆	
		出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		英語外部試験	☆☆☆			☆		
	D(外国人生徒)	面接	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆	☆	☆	
		出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		英語外部試験	☆☆☆			☆		
私費外国人留学生選抜		日本留学試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆☆		☆☆	☆	☆	
		出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学合同での対面授業も行われます。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えています。卒業単位を修得することで、小学校1種、及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校1種の教員免許を取得できることを特徴としています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教育実践科目を備えています。	教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部のすべての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教育実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また、教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
- ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
- ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
- ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
- ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
- ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接ではすべての系に共通して教職への関心や適性を問います。
総合型選抜 A (一般)	教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。 出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。
学校推薦型選抜	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。 出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接			☆☆		☆☆	☆☆☆
		小論文 ※2	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		実技検査 ※2	☆☆☆					
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A (一般)		出願書類(スポーツ活動調査書) ※3	☆☆					
		講義レポート作成 ※4			☆☆☆			
		グループディスカッション ※4				☆☆☆	☆☆	
		小論文 ※4	☆☆		☆☆☆			
		基礎能力試験 ※4	☆☆☆					
		実技検査等 ※4	☆☆☆					
		プレゼンテーション及び面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		出願書類(調査書)				○		
学校推薦型選抜		出願書類(志望理由書)				○		
		出願書類(受験者本人が記載する活動報告書等) ※5		☆☆☆			☆	
		面接		☆☆		☆☆☆	☆	☆☆☆
		小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(調査書)				○		
学校推薦型選抜		出願書類(推薦書)				○		

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。

※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。

※3 保健体育分野の選抜で課されます。

※4 総合型選抜 A (一般) では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。

※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」等を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心／身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。 2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、プロジェクト科目や卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。	本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておくことが必要です。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的・論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ② 「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ③ 科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
- ⑤ 主体性をもちつつ、さまざまな人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

*「工学の専門分野」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等(数学・理科・英語)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野*」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等(小論文)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等(小論文)により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜 A (一般)	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答、および面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションの内容は、「化学系」では化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題、「機械・情報電子系」では理数系分野に関して取り組んだ課題に関するものとします。またそれに対する質疑応答には、「化学系」では「化学」の、「機械・情報電子系」では「数学」や「物理」の基礎知識の確認も含まれます。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、関連する「工学の専門分野*」への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	GSC事業等のプログラムの修了者**を対象として、「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答および面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションと質疑応答および面接は、総合型選抜(一般)と同様に行いますが、それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかとも評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書および基礎能力試験(数学・理科・英語)と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、それぞれの系に関連する「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生 選 抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査(数学・理科)の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、工学部で学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

** GSC事業等のプログラムの修了者とは、科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業およびそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者を指します。詳細は学生募集要項を参照ください。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		小論文			☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	A(一般)	プレゼンテーション・面接		☆☆		☆☆☆	☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
		出願書類(自己推薦書)		☆☆		☆☆☆	☆☆
	A(特別)	プレゼンテーション・面接		☆☆		☆☆☆	☆☆☆★
		出願書類(調査書・GSC事業等の修了証)			○		
		出願書類(自己推薦書)		☆☆		☆☆☆	☆☆
学校推薦型選抜	基礎能力試験		☆☆☆	☆	☆		
	面接				☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)			☆☆		☆	☆☆
私費外国人留学生選抜	英語外部試験			☆☆☆		☆☆	
	日本留学試験		☆☆☆	☆	☆☆	☆	
	学力検査			☆☆☆	☆☆	☆	
	面接				☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

(iii) ★は、☆に加えて点数・評価に加算のあることを示す。

農学部 フロンティア食品科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。 『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。 『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。 『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。 『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。	食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GD では主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜 A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5 分）および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎知識、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆		☆	
		出願書類（調査書）			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類（調査書）			○			
		出願書類（自己推薦書）			○			
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
		出願書類（自己推薦書）			○			
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆☆			
		出願書類（推薦書）			○			
		出願書類（調査書）			○			
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。 生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。 生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。 生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。 生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。	自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせることで筋道をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物または化学）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
面接				☆☆		☆☆☆		
出願書類（調査書）				○				
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
		出願書類（自己推薦書）			○			
	A（特別）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
		出願書類（自己推薦書）			○			
学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆		
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆				
	出願書類（推薦書）			○				
	出願書類（調査書）			○				
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆		
		出願書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考えなどの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。 基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。	自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②環境システム科学の基礎となる理科(生物)あるいは数学および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)または数学、および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基盤となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類(調査書)			○			
		出願書類(自己推薦書)			○			
	A(特別)	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
		出願書類(自己推薦書)			○			
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類(推薦書)			○			
		出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されことなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境および経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。	食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
- ⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、および英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆				
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		出願書類(調査書)			○			
		出願書類(自己推薦書)			○			
	A(特別)	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆	☆☆☆			☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
		出願書類(自己推薦書)			○			
学校推薦型選抜	面接		☆☆	☆☆			☆☆	
	小論文		☆☆	☆☆☆				
	出願書類(推薦書)				○			
	出願書類(調査書)				○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆	☆☆				
	小論文		☆☆	☆☆☆				
	面接		☆☆	☆☆			☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

(単位：人)

学 部	学科・分野等			計	一 般 選 抜		総 合 型 選 抜				学校推薦型 選 抜	私費外国人 留 学 生 選 抜		
					前期日程	後期日程	A		B (帰国生)	C (社会人)			D (外国人生徒)	
							(一般)	(特別)						
データサイエンス 経 営 学 部	データサイエンス経営学科			55	40	8	7							
	合 計			55	40	8	7							
地 域 デザイン 科 学 部	コミュニティデザイン学科			47	33	7	7					若 干 名		
	建築都市デザイン学科			47	37	7	3							
	社会基盤デザイン学科			37	25	7	5							
	合 計			131	95	21	15					—		
国際学部	国 際 学 科			84	38				2	若干名	3	36	5	
	合 計			84	38	*1			2	—	3	36	5	
共 同 教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教 育 人 間 科 学 系	教 育 心 理 特 別 支 援 教 育	170	21		3					20		
							2							
							5							
		人 文 社 会 系	国 語 会 社		35		2							
							2							
							2							
		自 然 科 学 系	数 理 学 科 技 術		30		5							
							5							
							3							
		芸 術 ・ 生 活 ・ 健 康 系	音 楽 術 美 術 保 健 体 育 家 政		25		3							
							2							
							3							
							2							
	合 計			170	111	*1	39					20		
工 学 部	基 盤 工 学 科	化 学 系 機 械 ・ 情 報 電 子 系		290	50	20	8	若干名				10	若 干 名	
							5	若干名				30		
	合 計			290	217	20	13	—				40	—	
農 学 部	フロンティア食品科学科			37	22	3	3	若干名				9	若 干 名	
	生物生産イノベーション科学科			56	34	6	5	若干名				11		
	環境システム科学科			51	30	5	6	若干名				10		
	エコロジカル社会経済学科			36	20	4	5	若干名				7		
	合 計			180	106	18	19	—				37	—	
総 計				910	607	67	93		2	—	3	133	5	

* 1 国際学部及び共同教育学部は、後期日程を実施しません。

(注 1) 共同教育学部学校教育教員養成課程の選抜別募集人員（分野別概数）は別表のとおりです。

(注 2) 総合型選抜〔A（一般）、B（帰国生）、D（外国人生徒）〕、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生選抜（国際学部のみ）の入学手続者が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・系等の前期日程の募集人員に加えます。

(注 3) 総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生選抜については、それぞれの募集要項を参照してください。

別表 共同教育学部学校教育教員養成課程の選抜別募集人員（分野別概数）

学部	課程	系	分野	募集人員	前期日程	総合型選抜A (一般)	学校推薦型 選抜
共同 教育 学部	学校教育教員養成課程	教育人間 科学系	教育	170	4	3	20
			教育心理		5	2	
			特別支援教育		12	5	
		人文社会系	国語		16	2	
			社会		11	2	
			英語		8	2	
		自然科学系	数学		16	5	
			理科		12	5	
			技術		2	3	
		芸術・生活・ 健康系	音楽		6	3	
			美術		5	2	
			体育		8	3	
			保健		6	2	
			家政				
計				170	111	39	20

4 出願資格

次の要件のいずれかに該当し、かつ令和8年度大学入学共通テストのうち本学が指定する教科・科目を受験した者として。(30 ページ参照)

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※【学校教育法施行規則第150条7号】に掲げられている「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」に該当するものとして、宇都宮大学の認定を必要とする受験者は、本学受験生ポータルサイトの以下のページ（個別入学資格審査について）を参照してください。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/>

5 出願上の留意事項

(1) 出願する者に対する共通の留意事項

1. 宇都宮大学の入学者選抜における一般選抜は、「前期日程」及び「後期日程」により行います。「前期日程」の学部・学科等のうちから1つ、「後期日程」の学部・学科等のうちから1つ、合計2つの学部・学科等に出願することができます。
2. 本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学の「後期日程」に出願することはできません。
(※ 公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照）
3. 「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を完了した者は、「後期日程」の大学・学部を受験しても、当該大学・学部の合格者とはなりません。《国公立大学の分離分割方式》
《国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、可否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。》
4. 大学入試センターからの成績提供により本学の指定教科・科目を受験していないことが判明した場合は、その時点で失格となり、受験できません。必ず30ページの「大学入学共通テスト受験教科・科目確認表」による確認を行ってください。

(2) 学校推薦型選抜、総合型選抜合格者に対する留意事項

本学の学校推薦型選抜、総合型選抜A（一般）・（特別）合格者並びに他の国公立大学の学校推薦型選抜、総合型選抜合格者は、合格した大学の定める学校推薦型選抜、総合型選抜の辞退手続により入学辞退が許可された場合を除き、個別学力検査等を受験しても合格とはなりません。《※当該大学、選抜区分の学生募集要項も併せて確認すること。》

(3) データサイエンス経営学部に出願する者に対する留意事項

「前期日程」については、文系型、理系型の2種類の受験方式を設けます。出願時にいずれかの受験方式を選択してください。

(4) 共同教育学部に出願する者に対する留意事項

共同教育学部学校教育教員養成課程については、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系の4つの系に分けて入学試験を行います。

		系	分 野	出願に際しての留意事項
共同教育学部	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教 育	左記の分野のうちから志望順位をつけて、最大3つまで選択してください。（第2志望以下を選択しないことも可能です。）
			教 育 心 理	
			特 別 支 援 教 育	
		人 文 社 会 系	国 語	左記の分野のうちから志望順位をつけて、最大3つまで選択してください。（第2志望以下を選択しないことも可能です。）
			社 会	
			英 語	
		自 然 科 学 系	数 学	左記の分野のうちから志望順位をつけて、最大3つまで選択してください。（第2志望以下を選択しないことも可能です。）
			理 科	
			技 術	
		芸術・生活・健康系	音 楽	左記の分野のうちから、1つだけを選択してください。
			美 術	
			保 健 体 育	
家 政				

(注1) 志望の記入がない分野については、その分野への入学意思がないものとして取り扱います。

(注2) 各系内での分野振分けは、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格者発表時に行います。

(5) 工学部に出願する者に対する留意事項

「前期日程」については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を行います。化学系に合格し入学した者は2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と1年次の成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。また、本人の希望と1年次の成績により、各系の若干名が2年次から配属されるコースを変更することができます。

「後期日程」については、基盤工学科全体で入学者選抜を行います。（系ごとの入学者選抜は行いません。）「後期日程」に合格し入学した者は、本人の希望と1年次の成績により、2年次より所定のコースに配属されます。

6 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step 1	事前準備	出願手続を始める前に、27ページの「(5) 事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
Step 2	出願登録	本学ホームページからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/)
Step 3	入学検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step 4	必要書類の印刷 (詳細は28ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
Step 5	必要書類の送付	インターネット出願サイト等から印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう郵送してください。
Step 6	受験票の印刷 (詳細は29ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自がカラー印刷して、必ず個別学力検査当日に持参してください。

(2) 出願期間

出 願 期 間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
令和8年1月26日(月)～2月4日(水)	2月4日(水) 15時	2月4日(水) 17時

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の9時から17時まで(土・日曜日は除く)に持参してください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学 学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「ペイジー対応銀行ATM」「クレジットカード」「インターネットバンキング」「コンビニエンスストア」のいずれかの方法でお支払いください。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。ただし、出願受付後に大学入試センターからの成績提供により、本学の指定教科・科目を受験していないことが判明し、失格となった場合は13,000円を返還します。

なお、入学検定料の免除を申請する方は、「(8) 入学検定料免除について」を参照の上、出願登録画面で「入学検定料の免除を申請します」にチェックを入れてください。

(5) 事前準備

パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 また、入学志願票等PDF書類の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Readerが必要です。 <PC利用時推奨ブラウザ> ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。 <スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ> ・iOS 12 以降 ・Android OS 8 以降 ・iPadOS 13 以降 ※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。
メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真（データ）の用意	出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル形式自由、2MBまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 ※試験中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影してください。 以下の「使用できない写真の例」に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像にアプリ等で加工・修正を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。（28ページ参照）
角形2号封筒の用意	必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。前期日程・後期日程ともに本学へ出願する場合は、それぞれにつき1枚ずつ用意してください。
様式印刷の用意 （プリンタ、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、P C用紙、O A共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取扱いには十分注意してください。）

(6) 出願書類等

出願に必要な書類はこの表で確認してください。

表中の「○」印の書類はインターネット出願サイトから印刷する書類、「●」印の書類は、本学受験生ポータルサイトから様式を印刷して作成する書類です。

(受験生ポータルサイト <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>)

出願に必要な書類等	摘 要
○入学志願票 (全員提出)	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 写真は、27ページ「志願者本人写真(データ)の用意」を参照し、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。
調査書等 (全員提出)	出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、出身学校において厳封したものを提出してください。 既卒者については、卒業後に発行された調査書を提出してください。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記載できない又は調査書そのものが提出できない場合は、必ず令和8年1月7日(水)までに入試課に相談してください。 次の各号のいずれかに該当する者は、以下に掲げる書類をもって調査書に代えることができます。 ア) 出身高等学校等において、指導要録が保存年限を超えるなどの理由により、調査書(成績証明書を含む。)が発行できない場合 …卒業証明書及び出身高等学校長等が作成した「調査書(成績証明書を含む。)を発行できない旨の証明書」 イ) 高等専門学校第3学年修了者(見込みを含む。)及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者(見込みを含む。) …出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの ウ) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定) 合格者 …合格成績証明書(※合格証明書は不要) エ) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(見込みを含む。)又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者 …修了(見込)証明書及び成績証明書 オ) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する「国際バカロレア資格」を有する者 …国際バカロレア資格証書の写し及びIB最終試験の成績評価証明書 カ) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められている「アビトゥア資格」を有する者 …アビトゥア資格証書の写し及び一般的大学入学資格証明書の写し キ) フランス共和国において、大学入学資格として認められている「バカロレア資格」を有する者 …バカロレア資格証書の写し及びバカロレア試験成績証明書 ク) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められている「ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」又は「インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」を有する者 …成績評価証明書の写し ケ) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者 …欧州バカロレア資格証書の写し及び欧州バカロレア最終試験成績証明書の写し
●スポーツ活動調査書 (該当者のみ提出)	共同教育学部学校教育教員養成課程の芸術・生活・健康系保健体育分野に出願する者のみ。 本学受験生ポータルサイトより様式をダウンロードの上、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
●〈ピアノ〉提出楽譜 (該当者のみ提出)	共同教育学部学校教育教員養成課程の芸術・生活・健康系音楽分野に出願する者のみ。 ピアノで演奏する曲の楽譜に、本学受験生ポータルサイトよりダウンロードした「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付して提出してください。なお、楽譜はコピー可とし、印刷サイズ及び綴じ方は任意とします。

●入学検定料免除申請書 (該当者のみ提出)	地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、本ページ下記「(8)入学検定料免除について」を参照し、本学受験生ポータルサイトより様式をダウンロードして作成した「入学検定料免除申請書」を提出してください。
出願書類提出用封筒 (全員提出)	市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートを貼付して郵送してください。 前期日程・後期日程ともに本学へ出願する場合は、それぞれにつき1枚ずつ封筒を用意して提出してください。
○出願書類提出用 宛名シート (全員貼付)	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、出願書類提出用封筒にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 <u>必ず出願者チェック欄にチェックをして、必要書類を漏れなく封入したことを確認</u> してから郵送してください。

(7) 出願書類等に関する注意事項

- ・インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期限までに支払い、出願に必要な書類を期間内に本学に届くよう送付することで完了します。
- ・受理した出願書類等はいかなる理由があっても返還しません。
- ・受理した出願書類等の記載内容は変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに入試課へ連絡してください。
- ・提出した出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

(8) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用された地域における地震、風水害等の災害(以下「災害」という。)により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者(父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。)が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- ㊦ 全壊
- ㊧ 大規模半壊
- ㊨ 半壊

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、本学受験生ポータルサイトより様式をダウンロードして作成した入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書(写し可)を添えて、申請してください。

ア ①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て(入学検定料免除申請書に記載してください。)

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ入試課まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について入試課から電話にて連絡します。

(9) 受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、2月13日(金)以降に、インターネット出願サイトにログインしてカラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみ等で切り、個別学力検査当日に持参してください。

7 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下記の表は、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験したことを確認するための表です。36～41 ページの志望学部 of 「入学者選抜の実施教科・科目等及び配点」の表を参照の上、必ず志願者本人が、下表の確認欄ごとに 1 つずつ○を付けて、○の数が各教科の指定科目数になるかを確認してください。

(1 つの欄には、1 つしか○を付けることができません。) 「地理歴史」「公民」における科目選択及び「理科」における科目選択には制限がありますので 34～35 ページを参照してください。

各学部・学科等が指定する教科・科目を 1 つでも受験していないことが判明した場合は、出願することはできません。

※必ず、36～41 ページの志望学部の「入学者選抜の実施教科・科目等及び配点」の表を併せて参照すること。

データサイエンス経営学部（データサイエンス経営学科）【前期日程・後期日程共通】																						
教科	国語	地理歴史、公民					数学①			数学②	理科				外国語				情報			
科目	国語	地	地	歴	歴	公	公	地歴公	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数①	1				2				1	1		1		1					1			1
指定科目数②	1				1				1	1		1		2					1			1
確認欄																						

地域デザイン科学部（コミュニティデザイン学科）【前期日程・後期日程共通】																					
教科	国語	地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報				
科目	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数Ⅰ A	数Ⅰ B	数Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数①	1	2						1		1	1						1				1
指定科目数②	1	1						1		1	2						1				1
確認欄																					

地域デザイン科学部（建築都市デザイン学科）【前期日程・後期日程共通】																						
教科	国語	地理歴史、公民					数学①			数学②	理科				外国語				情			
科目	国語	地	地	歴	歴	公	公	地歴公	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1	1							1		1		2				1				1	
確認欄																						

地域デザイン科学部（社会基盤デザイン学科）【前期日程・後期日程共通】																					
教科	国語	地理歴史、公民					数学①			数学②	理科				外国語				情報		
科目	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数Ⅰ A	数Ⅰ B	数Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1	1						1		1		1	1				1				
確認欄																					

国際学部（国際学科）【前期日程】																							
教科	国語		地理歴史、公民				数学①			数学②	理科				外国語				情量				
科目	国語	地	地	歴	歴	公	公	地歴公	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情	
指定科目数	1							2			1										1		1
確認欄																							

共同教育学部（教育人間科学系、人文社会系）【前期日程】																						
教科	国語		地理歴史、公民				数学①			数学②	理科				外国語				情報			
科目	国語	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数 Ⅰ A	数 Ⅰ B	数 Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1				2				1			1						1				1
確認欄																						

共同教育学部（自然科学系）【前期日程】																					
教科	国語	地理歴史、公民					数学①		数学②	理科				外国語				情 報			
科目	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数Ⅰ A	数Ⅰ B	数Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1	1						1	1	1	1	2				1				1	
確認欄																					

共同教育学部（芸術・生活・健康系）【前期日程】																						
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報				
科目	国語	地	地	歴	歴	公	公	地歴公	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1			1					1				1					1				1
確認欄																						

工学部（基盤工学科）【前期日程・後期日程共通】																						
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報				
科目	国語	国語	地歴Ⅰ	地歴Ⅱ	公民Ⅰ	公民Ⅱ	地歴Ⅲ	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情	
指定科目数	1				1			1	1			2					1					1
確認欄																						

農学部（フロンティア食品科学科）【前期日程・後期日程共通】																					
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報			
科目	国語	国語	地 地	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数 Ⅰ A	数 Ⅰ B	数 Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1		1					1	1		2						1				1
確認欄																					

農学部（生物生産イノベーション科学科）【前期日程・後期日程共通】																						
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報				
科目	国語	国語	地歴	地歴	公倫	公政	地歴公	数ⅠA	数ⅠB	数ⅡB	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情	
指定科目数	1							1	1		2						1					1
確認欄																						

農学部（環境システム科学科）【前期日程・後期日程共通】																					
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報			
科目	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数 Ⅰ A	数 Ⅰ B	数 Ⅱ B C	基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数	1	1						1	1		2				1				1		
確認欄																					

農学部（エコロジカル社会経済学科）【前期日程・後期日程共通】																				
教科	国語		地理歴史、公民				数学①		数学②	理科				外国語				情報		
科目	国語	地 地	歴 日	歴 世	公 倫	公 政	地 歴 公	数Ⅰ A	数Ⅱ B C	基礎	物理	化学	生物	地学	英	独	仏	中	韓	情
指定科目数①	1			2				1	1	1						1				1
指定科目数②	1			1				1	1	2						1				1
確認欄																				

8 疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

- (1) 事前相談の期限 令和8年1月7日（水）まで
- (2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式は受験生ポータルサイト（障がいのある方への配慮について）に掲載

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/>）に次の内容を記載し、医師の診断書（入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写し可）を添えて入試課に提出してください。また、大学入学共通テストの「受験上の配慮決定通知書」がある場合には、必ずその写しを提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 出願予定の選抜の種類（前期日程又は後期日程）、学部・学科等
- ③ 疾病・負傷や身体障がい等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

9 選抜の方法及び個別学力検査等の日時

(1) 選抜の方法

学 部	日 程	選 抜 の 方 法
データサイエンス 経営学部	前期日程 後期日程	令和8年度大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して決定します。
地域デザイン 科学部	前期日程 後期日程	
国際学部	前期日程	
共同教育学部	前期日程	
工学部	前期日程 後期日程	
農学部	前期日程 後期日程	

(2) 個別学力検査等の日時

日 程	検 査 日	検 査 時 間
前 期 日 程	令和8年2月25日（水）	「(3) 個別学力検査等の時間割表」のとおり
後 期 日 程	令和8年3月12日（木）	

(3) 個別学力検査等の時間割表

前期日程 令和8年2月25日(水)

検査室の入室開始は8:00(ただし、第2時限から受験する者は11:00以降)です。
検査開始時刻の15分前までに入室してください。

			第1時限			第2時限			第3時限			
学部・学科等			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
データ 経営サイ 学部エ	データサイエンス 経営学 科		文 系 型						数学 13:15 ～14:00		英語 15:00～17:00	
			理 系 型				数学 12:00～14:00				英語 16:15 ～17:00	
地域 デザイン 科学部	コミュニ ティ学 科						小論文 12:30～14:00					
	建 築 都 市 デザイン学 科						数学 12:30～14:00					
	社 会 基 盤 デザイン学 科			理科 9:30～11:00		数学 12:30～14:00						
国際 学部	国 際 学 科						小論文 12:00～14:00		英語 15:00～17:00			
共同 教育学部	学校 教育教員 養成課程	教 育 人 間 科 学 系		小論文 9:30～11:00				面接＊ 13:00～(終了未定)				
		人 文 社 会 系		小論文 9:30～11:00				面接＊ 13:00～(終了未定)				
		自 然 科 学 系		小論文 9:30～11:00				面接＊ 13:00～(終了未定)				
		芸 術 ・ 生 活 ・ 健 康 系	音楽実技 ** 9:00～12:00						面接＊ 13:00～(終了未定)			
			美術実技 9:00～12:00						面接＊ 13:00～(終了未定)			
			体育実技 ** 9:00～12:00						面接＊ 13:00～(終了未定)			
			小論文 9:30～11:00						面接＊ 13:00～(終了未定)			
工 学部	基 盤 工 学 科			理科 9:00～11:00		数学 12:30～14:00			英語 16:15 ～17:00			
農 学部	フロンティア食 品 科 学 科			理科 9:30～11:00					英語 15:40～17:00			
	生物生産イノベーション科学科			理科 9:30～11:00					英語 15:40～17:00			
	環 境 シ ス テ ム 科 学 科			理科 9:30～11:00		数学 12:30～14:00		英語 15:40～17:00				
	エコロジカル社会経済学科					数学 12:30～14:00		英語 15:40～17:00				
			小論文 12:30～14:00									

*「面接」は受験者数によるため、終了時刻は未定です。

**「音楽実技・体育実技」は、終了時刻が遅れる可能性があります。

後期日程 令和8年3月12日(木)

検査室の入室開始は8:00からです。
受験者は検査開始時刻の15分前までに入室してください。

学部・学科等		9:0010:0011:0012:0013:0014:0015:0016:0017:00									
ンデー ス 経営サイ 学部エ	データサイエンス 経営学 科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	コミュニティ デザイン 科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	建築都市 デザイン 学 科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	社会基盤 デザイン 学 科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
工学部	基盤工学科		小論文 9:30～ 10:30								
農学部	フロンティア食品科学科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	生物生産イノベーション科学科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	環境システム科学科	面接＊ 9:00～(終了未定)									
	エコロジカル社会経済学科	面接＊ 9:00～(終了未定)									

*「面接」は受験者数によるため、終了時刻は未定です。

(4) 入学者選抜の実施教科・科目等

教科・科目名の表記について

◎ 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

『国語』→「国」

○地理歴史→地歴

『地理総合、地理探究』→「地地」、『歴史総合、日本史探究』→「歴日」、

『歴史総合、世界史探究』→「歴世」、『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」、

○公民→公民

『公共、倫理』→「公倫」、『公共、政治・経済』→「公政」、

『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」、

○数学→数

『数学Ⅰ、数学A』→「数ⅠA」、『数学Ⅰ』→「数Ⅰ」、

『数学Ⅱ、数学B、数学C』→「数ⅡBC」、

○理科→理

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→「基礎」、

『物理』→「物」、『化学』→「化」、『生物』→「生」、『地学』→「地学」

○外国語→外

『英語』→「英」、『ドイツ語』→「独」、『フランス語』→「仏」、『中国語』→「中」、

『韓国語』→「韓」

○情報→情

『情報Ⅰ』→「情」

◎ 個別学力検査等の出題教科・科目名は、上記と同様に示します。

「数学Ⅱ」→ 数Ⅱ、「数学Ⅲ」→ 数Ⅲ、「数学A」→ 数A、「数学B」→ 数B、

「数学C」→ 数C

◎ 大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について

① 大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、「地歴公」を選択する場合は、3つの出題範囲（地理総合、歴史総合、公共）のうち2つを選択解答してください。

② 大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せを選択することはできません。

・「公倫」と「公政」

・「地歴公」を選択する場合、「地歴公」で選択解答するものと同一名称を含む科目

(参考)「地歴公」を選択する場合における選択可能な組合せ

○：選択可 ×：選択不可

	『地理総合／歴史総合／公共』		
	「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
地地	×	×	○
歴日	×	○	×
歴世	×	○	×
公倫	○	×	×
公政	○	×	×

◎ 大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について

- ① 大学入学共通テストの「理科」において、「基礎」を選択する場合は、4つの出題範囲（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）のうち2つを選択解答してください。
- ② 大学入学共通テストの「理科」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せを選択することはできません。

・「基礎」を選択する場合、「基礎」で選択解答するものと同一名称を含む科目

（参考）「基礎」を選択する場合における選択可能な組合せ ○：選択可 ×：選択不可

	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』					
	「物理基礎」 「化学基礎」	「物理基礎」 「生物基礎」	「物理基礎」 「地学基礎」	「化学基礎」 「生物基礎」	「化学基礎」 「地学基礎」	「生物基礎」 「地学基礎」
物理	×	×	×	○	○	○
化学	×	○	○	×	×	○
生物	○	×	○	×	○	×
地学	○	○	×	○	×	×

①入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

[illegible]

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ① 「英」は、リスニングを含みます。
- ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
- ③ 地歴、公民及び理科2科目を受験しているときは、「地歴、公民2科目と理科1科目（第1解答科目）」、「地歴、公民1科目と理科2科目」のうちの、いずれか得意科目の組み合わせを利用します。
- ④ 「第1解答科目」と理科2科目」のうちの、34ページの「大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
- ⑤ 地歴、公民については、35ページの「大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

- 大学入学共通テストにおける英語のリーディング（筆記試験）は1.5倍（150点満点）に、リスニングは0.5倍（50点満点）にそれぞれ換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）を2倍（200点満点）に換算します。
- また、「英語」以外の外国語の場合は、筆記試験をそのまま利用します。

大学入学共通テストに関する留意事項

大学の指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を1つでも受験していない場合は、失格となりますので、十分確認の上出願してください。

個別学力検査に関する留意事項

指定された教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、失格となりますので十分注意してください。

[illegible]

() の配点は、選択科目を表します。

- [illegible]

大学入学共通テストに関する留意事項

大学の指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を1つでも受験していない場合は、失格となりますので、十分確認の上出願してください。

個別学力検査に関する留意事項

指定された教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、失格となりますので十分注意してください。
なお、社会基盤デザイン学科前期日程については、左記【個別学力検査等】欄に記載のとおりです。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】 標

- ① 「英」、リスニングを含みます。
- ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
- ③ コミュニティデザイン学科において、地歴、公民2科目と理科2科目を受験しているときは、地歴、公民2科目と理科1科目（第1解答科目）、「地歴、公民1科目（第1解答科目）」と理科2科目の組み合わせを利用します。
- ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【個別学力検査等】欄

社会基盤デザイン学科前日日程において、数学あるいは理科(物理)のいずれか1教科、又は、数学及び理科(物理)の2教科の両方を受験することを可能とします。

数学あるいは理科(物理)のいずれか1教科を受験した者については、その受験した教科の得点により合格判定を行い、数学及び理科(物理)の2教科を受験した者については数学あるいは理科(物理)のいずれか得点の高いほうを利用し合格判定を行います。

学部・入学及び入学		学科等		名等		学力検査等の区分・日程		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
								教科	科目名等	教科等	科目名等	検査等の内容	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	配点合計
共同教育学部 前期111	教育人間科学系 教育心理学 特別支援教育 前期21	国 地歴公民 数理科 理外情	[国] [地歴] [公政]、[歴史]、 [数ⅠA]、[数ⅠB]、 [数ⅡBC]から1 [基礎]、[物]、[化]、 [生]、[地学]から1 [英]、[独]、[仏]、 [中]、[韓]から1 [情]	〔6教科7科目又は7教科7科目〕	その他	小論文	小論文	小論文	教育人間科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。	大学入学共通テスト	200	200	100	100	200	100				900			
						面接	面接	面接	面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	個別学力検査等								100	300	400			
									計	計	200	200	100	100	200	100		100	300	1300			
									大学入学共通テスト	200	200	100	100	200	100						900		
教育学部 前期35	人文社会科学系 国語 社会 英語 前期35	国 地歴公民 数理科 理外情	[国] [地歴] [公政]、[歴史]、 [数ⅠA]、[数ⅠB]、 [数ⅡBC]から1 [基礎]、[物]、[化]、 [生]、[地学]から1 [英]、[独]、[仏]、 [中]、[韓]から1 [情]	〔6教科7科目又は7教科7科目〕	その他	小論文	小論文	小論文	人文社会科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。	大学入学共通テスト	200	200	100	100	200	100				900			
						面接	面接	面接	面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	個別学力検査等								100	300	400			
									計	計	200	200	100	100	200	100		100	300	1300			
									大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100						1000		
教員養成課程	自然科学系 数学 理科 技術 前期30	国 地歴公民 数理科 理外情	[国] [地歴] [公政]、[歴史]、 [数ⅠA]、[数ⅠB]、 [数ⅡBC]から1 [基礎]、[物]、[化]、 [生]、[地学]から2 [英]、[独]、[仏]、 [中]、[韓]から1 [情]	〔6教科8科目〕	その他	小論文	小論文	小論文	自然科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100				1000			
						面接	面接	面接	面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	個別学力検査等								100	300	400			
									計	計	200	100	200	200	200	100		100	300	1400			
									大学入学共通テスト	200	100	100	100	200	100						800		
課程	芸術・生活・健康系 音楽 美術 保健体育 家政 前期25	国 地歴公民 数理科 理外情	[国] [地歴] [公政]、[歴史]、 [数ⅠA]、[数ⅠB]、 [数ⅡBC]から1 [基礎]、[物]、[化]、 [生]、[地学]から1 [英]、[独]、[仏]、 [中]、[韓]から1 [情]	〔6教科6科目〕	その他	音楽実技 美術実技 体育実技 小論文(家政)	音楽実技 美術実技 体育実技 小論文(家政)	音楽実技 美術実技 体育実技 小論文(家政)	音楽の基礎的能力、表現力をみる。 美術の基礎的観察力をみる。 各種目の基礎的技能に関する資質をみる。	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200	100				800			
									面接	面接	面接	面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	個別学力検査等										
									計	計	200	100	100	100	200	100		100	300	500			
									大学入学共通テスト	200	100	100	100	200	100								

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 「英」は、リスニングを含むです。
 ② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 数学において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、得意点の科目を利用します。
 ④ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト」地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

[illegible]

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

- ① 「英」は、リスニングを含みます。
- ② 地歴、公民において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
- ③ 地歴、公民については、34ページの「大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
- ④ 大学入学共通テストにおける英語のリーディング(筆記試験)は1.5倍(150点満点)に、リスニングは0.5倍(50点満点)にそれぞれ換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング(筆記試験)を2倍(200点満点)に換算します。
- ⑤ 「英語」以外の外国語の場合は、筆記試験をそのまま利用します。
- ⑥ 基礎工学科化学系前日程における大学入学共通テストの配点について、各教科・科目の合計得点1000点満点を700点満点に換算します。

大学入学共通テストに関する留意事項

大学の指定した大学入学共通テストの受験を要する教科科目を1つでも受験していない場合は、失格となりますので、十分確認の上出願してください。

個別学力検査に関する留意事項

- ① 個別学力検査の選択科目は、出願の際に届け出た教科・科目で受験してください。届け出以外の科目で受験した場合は、失格となります。
- ② 指定された教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、失格となりますので十分注意してください。
- ③ 前期日程「理科」の選択科目において、科目間で著しい平均点格差が生じた場合には、得点を調整することがあります。

大学入学共通テストの科目名等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等
学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学 校 等 名 及				

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】 備

① 「英」は、リスニングを含みます。

② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合で2科目受験しているときは、第1解答科目を採用します。

③ エゴロカル社会経済学科において、地歴、公民2科目と理科2科目を受験しているときは、第1解答科目と理科1科目（第1解答科目））、地歴、公民2科目と理科1科目（第1解答科目））を参照の上選択してください。

④ 地歴、公民については、35ページの「大学入学共通テスト「理科」における科目選択の期間について」を参照の上選択してください。

また、理科については、35ページの「大学入学共通テスト」の配点は、選択教科を教えます。

② 共同教育学部実技検査の内容

選択教科・科目	内 容
音 楽 実 技	次の 1、2、3 の内容を課します。 1 楽 典 楽式論、作曲法、音楽史の内容を含みません。 2 声 楽 次の①・②の日本歌曲から任意の 1 曲を選択し、歌詞の 1 番を暗譜で演奏してください。(伴奏者は本学で用意します。) ① 林 古溪 作詞、成田 為三 作曲 《浜辺の歌》 (へ長調) ② 江間 章子 作詞、中田 喜直 作曲 《夏の思い出》 (ニ長調) 3 ピアノ ピアノ独奏による自由曲 (3 分以上の楽曲) 1 曲を暗譜で演奏してください。 (反復は省略。) [注] ピアノで演奏する曲の楽譜 (コピー可) に本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙 (※)」を添付し、出願時に提出してください。(ただし、提出された楽譜は返却しません。)
美 術 実 技	鉛筆による静物素描 [モチーフ及び試験に使用する画材類については、全て大学で用意します。]
体 育 実 技	基礎的運動能力に関して、下記の 3 領域 (A、B、C) からそれぞれ 1 種目ずつ選択し、計 3 種目を検査します。 A. 陸上運動領域 [50mハードル走、又は走り幅跳び] B. ボール運動領域 [バスケットボールのドリブル走、又はハンドボール投げ] C. 器械運動・表現運動領域 [複数技を組み合わせたマット運動、又は「スポーツ」を題材としたテーマに基づいた即興表現] [注] ① 運動に適した服装、屋内用・屋外用シューズ両方を持参してください。 ただし、陸上運動領域ではスパイクシューズを使用することはできません。 ② 悪天候などにより、若干の種目変更をする場合があります。 ③ 3 領域 (A、B、C) の具体的な検査内容は、当日説明します。 ④ 50m ハードル走は、男女それぞれ次の条件で行います。 1 台目までの距離：男女とも 12m ハードルの高さ：男子 84.0cm、女子 76.2cm インターバル：男子 7.5m、女子 7.0m

※本学受験生ポータルサイトよりダウンロードすることができます。

(5) 検 査 場

前期日程

学部名	全学部
検査場名 所在地	宇都宮大学 峰キャンパス検査場 宇都宮市峰町 3 5 0

後期日程

学部名	データサイエンス経営学部 地域デザイン科学部 工学部 農学部
検査場名 所在地	宇都宮大学 峰キャンパス検査場 宇都宮市峰町 3 5 0

※保護者控室の準備はありません。当日は受験者のみ入構が可能です。

44

10 受験上の注意

※ 受験上の留意事項を本学受験生ポータルサイトに掲載しますので、必ず確認してください。(前期日程・後期日程のそれぞれ1週間前を目処に掲載します)

(1) 個別学力検査当日の注意事項

- ① 検査当日は、インターネット出願サイトからダウンロードして印刷し、切り取り線に沿って切り取った「宇都宮大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。
- ② 検査室には、8時00分から入室できます。(ただし、前期日程において、第2時限から受験する者は11時からの入室になります。) その際、検査場正門及び検査室の所在する建物の入口でそれぞれ「宇都宮大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を係員に提示してください。
- ③ 天候等の影響で、交通機関が平常どおり運行していない可能性があります。検査場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。
- ④ 検査当日は、自動車、バイクによる検査場内への乗り入れを禁止します。
- ⑤ 検査当日は、バスの混雑が予想されますので、検査開始時刻に遅れないように注意してください。

(2) 個別学力検査時間中の注意事項

① 所持品の取扱い

ア 受験の際は、「宇都宮大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を机の上に置いてください。

イ 「宇都宮大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」のほかに検査時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆(和歌、格言等が印刷されているものは不可)、鉛筆キャップ
- ・ シャープペンシル(黒い芯に限る。)
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)
- ・ 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可)
- ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、検査終了まで預かることがあります。

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用を含む。)の使用を希望する場合は、検査開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。ただし、英文字や地図等がプリントされているものは使用できません。

ウ 検査時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。(検査時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮に関する事前相談(詳細は31ページ)が必要です。)

エ 検査時間中に使用してはいけない電子機器類は、検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。検査開始前に、監督者の指示で電源が切られているかなどの確認を行います。

オ 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

※ 検査時間中、病気・負傷や障がい等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮に関する事前相談(詳細は31ページ)が必要です。

② 検査時間中の監督者の巡視

検査時間中、監督者が検査室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるように指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することがあります。

また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した一般選抜の全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア インターネット出願において**故意に虚偽の情報を登録**したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、写真票に虚偽の内容があった場合や解答用紙へ**故意に虚偽の記入**（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
- イ **カンニング**（検査の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- ウ 他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること
- エ 配付された問題冊子を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと
- オ 解答用紙を検査室から持ち出すこと
- カ 監督者が検査開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること
- キ 検査時間中に、**定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ク 検査時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
- ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（検査時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談（詳細は 31 ページ）が必要です。）
- ケ 監督者が検査終了を指示した後に、その指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けること

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為**となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 検査時間中に、**定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類を**かばん等**にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 検査時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること
- ウ 検査に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 検査場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること

(4) その他の注意事項

- ① 配付された問題冊子は、その検査時間が終了するまで、検査室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。
- ② 検査時間中に監督者が、写真と受験者の顔の確認を行います。本人確認のために、顔を上げるよう監督者が指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することがあります。
- ※ 病気・負傷や障がい等により、本人確認の際、脱帽できない場合は、受験上の配慮に関する事前相談（詳細は 31 ページ）が必要です。
- ③ 検査時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置はありません。

11 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません。）

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次の URL をご覧ください。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

12 合格者発表

日 程	発 表 日 時
前 期 日 程	令和 8 年 3 月 6 日（金） 1 4 時
後 期 日 程	令和 8 年 3 月 2 0 日（金） 1 5 時

合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。

また、本学ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環として行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

（注）電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

13 入学手続

(1) 手続期間

日 程	手 続 期 間
前 期 日 程	令和 8 年 3 月 13 日（金）から 15 日（日）まで〔15 日の 17 時までに 必着 とします〕
後 期 日 程	令和 8 年 3 月 26 日（木）から 27 日（金）まで〔27 日の 17 時までに 必着 とします〕

※入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続方法

入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

また、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/guide01.php>」にも掲載する予定です。

(3) 提出書類等

ア 国公立大学入学確認票

※ 共通テスト出願サイトのマイページにおいて、入学手続を行う大学として本学を登録した上で「国公立大学入学確認票」を取得し、提出してください。

イ その他本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/guide01.php>」で定める提出書類

(4) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000 円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（4 年間分）〔令和 7 年 5 月現在〕 4,660 円

ウ TOEIC IP テスト受験料（5 回分） 12,900 円〔令和 7 年 5 月現在〕

エ 洋書多読システム等受講料（1年間分）6,820 円 [令和7年5月現在]

(5) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800 円（年額）

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分（267,900 円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落しによる口座振替の方法で納付することになります（前期分授業料口座振替日は5月下旬）。

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担になることがあります。

(6) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ

「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

14 追加合格

(1) 入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、令和8年3月28日（土）から追加合格候補者に対して、「入学志願票」の「出願者連絡先等」へ電話により照会します。

入学の意志については、本人に確認をしますので、本人の所在を明らかにし、連絡が取れるようにしておいてください。なお、電話での連絡が取れない場合や受験者本人の意思が確認できない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。

(2) 追加合格者の入学手続は、別途通知します。

15 欠員補充第2次募集

追加合格によっても募集人員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を実施することがあります。欠員補充第2次募集を実施する場合は、本学のホームページにおいてお知らせします。

16 受験時の宿泊案内について

受験に際して宿泊を希望する場合は、下記団体が宿泊先を紹介しております。

団 体 名	問 合 せ 先 等
宇都宮大学消費生活協同組合	TEL 028-636-1995 10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く） 詳しくはホームページをご覧ください。 https://text.univ.coop/puk/START/udai/ 

17 志願状況・合格状況等の情報提供について

(1) 志願状況・合格発表等の情報提供

本学のホームページや受験生ポータルサイトにおいて下記のとおり情報提供します。

(参考) 本学のホームページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/>

受験生ポータルサイト <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

提 供 内 容	提 供 期 間 (全て令和8年)
志願状況 (志願者数、志願倍率)	1月27日から2月14日まで
確定志願状況、受験に係るお知らせ	2月10日から2月24日まで
前期日程の合格発表及び入学手続〔日程等〕	2月25日から3月15日まで
※前期日程の合格者発表 (情報提供)	3月6日14時から3月15日17時まで
後期日程の合格発表及び入学手続〔日程等〕	3月13日から3月27日まで
※後期日程の合格者発表 (情報提供)	3月20日15時から3月27日17時まで
追加合格実施状況	3月28日から3月30日まで
欠員補充第2次募集の実施予定	決定次第速やかに

※ 前期日程及び後期日程の合格者発表の情報提供開始時刻は、システム障害がない場合のもので
す。なお、これらは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認し
てください。

(2) その他の情報提供

宇都宮大学では、上記のほか下記の情報提供を行っています。

区分	資料等名	情報提供の 形態	問合せ先
大学・ 学部案内	UTSUNOMIYA UNIVERSITY GUIDE BOOK (大学案内)	配布 WEB 閲覧	・「テレメール」で請求 二次元バーコードをご確認ください。 
	各学部案内(パンフレット)		
	宇都宮大学ファクトブック (各種データ)	WEB 閲覧	・入試課窓口で直接入手 問合せ先：028-649-5112 ・本学ホームページにて検索
	広報誌 (UUnow)		
履修方法	履修案内	閲覧	・入試課窓口で閲覧 問合せ先：028-649-5112
	シラバス	WEB 閲覧	・本学ホームページにて検索
学生生活	学生生活便利帳		
教員・ 研究紹介	研究者総覧		

18 令和7年度一般選抜の成績情報提供

令和7年度の大学の入学選抜試験（前期日程・後期日程）合格者の成績は、下表のとおりです。

ただし、合格者が10人に満たない場合、個人を特定できるおそれがあるため、成績は公表しませんので「非公表」と記載しています。

学部	学科・課程等		日 程	大学入学共通テスト			個別学力検査		
				配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点
サイエンス 経営学部	データサイエンス経営学科		前期日程	1000	796.0	687.6	400	303.9	250.0
			後期日程	1000	810.5	753.9	200	160.0	128.2
地域デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科		前期日程	1000	793.5	695.4	400	360.0	320.5
			後期日程	1000	739.0	688.8	300	270.0	235.1
	建築都市デザイン学科		前期日程	750	571.1	516.8	300	248.0	172.8
			後期日程	750	非公表		100	非公表	
	社会基盤デザイン学科		前期日程	1100	900.5	703.7	500	475.0	354.2
			後期日程	1200	872.5	808.1	300	277.0	243.9
国際学部	国際学科		前期日程	1100	902.5	801.1	800	648.0	560.8
共同教育 学部	学校教育 教員養成 課程	教育人間科学系	前期日程	900	666.0	590.2	400	318.0	272.6
		人文社会系	前期日程	900	740.5	623.3	400	350.0	276.4
		自然科学系	前期日程	1000	779.0	622.3	400	343.0	285.0
		芸術・生活・健康系	前期日程	800	577.0	502.3	500	442.0	352.9
工学部	基盤工 学科	化学系	前期日程	700	478.1	424.1	800	673.4	505.3
		機械・情報電子系	前期日程	1000	746.5	643.6	500	380.3	282.8
	基盤工学科		後期日程	1000	820.0	731.8	200	164.0	130.7
農学部	生物資源科学科		前期日程	1000	803.0	673.1	500	414.8	349.6
			後期日程	1100	非公表		100	非公表	
	応用生命化学科		前期日程	1000	802.5	681.6	500	404.6	363.6
			後期日程	1100	非公表		100	非公表	
	農業環境工学科		前期日程	1000	695.5	606.6	500	370.2	295.8
			後期日程	1000	非公表		100	非公表	
	農業経済学科		前期日程	1000	725.5	625.8	500	384.7	307.8
			後期日程	1000	非公表		100	非公表	
	森林科学科		前期日程	1000	885.0	625.0	500	429.2	335.7
			後期日程	1000	非公表		100	非公表	

19 令和8年度一般選抜の個人成績等の開示

本学では、一般選抜の個人成績及び調査書（指導上参考となる諸事項及び備考欄は除く。）を受験者本人に限り開示します。令和8年度一般選抜個人成績の開示は、次により行いますので、希望者は令和8年5月11日（月）以降に申し込んでください。

〈申込期間〉 令和8年5月11日（月）～令和8年5月29日（金）（土・日を除く）
5月29日（金）は、17時必着とします。

〈申込者〉 受験者本人に限ります。（代理人は不可）

〈申込先〉 宇都宮大学学務部入試課
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350（TEL：028-649-5112）

〈申込方法〉 (1) 大学窓口での申請（受付時間：平日9～12時、13～17時）

下記の書類をそろえ、入試課窓口に持参してください。

① 一般選抜個人成績等開示申込書（受験生ポータルサイトから様式を印刷し、記入してください。入試課窓口でも配付します。）

② 宇都宮大学受験票

③ 大学入学共通テスト受験票

④ 返送用封筒（長形3号：縦23.5cm×横12cm）

申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、460円分（定形郵便＋簡易書留の料金：郵便料金の改定がある場合には改定後の料金による）の切手を貼付してください。

(2) 郵送による申請（5月29日（金） 17時必着）

下記の書類を、「一般選抜個人成績開示請求」と朱書きした封筒で郵送してください。

① 一般選抜個人成績等開示申込書（受験生ポータルサイトから様式を印刷し、記入してください。）

② 宇都宮大学受験票

③ 大学入学共通テスト受験票

④ 返送用封筒（長形3号：縦23.5cm×横12cm）

申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、460円分（定形郵便＋簡易書留の料金：郵便料金の改定がある場合には改定後の料金による）の切手を貼付してください。

（注）宇都宮大学受験票、大学入学共通テスト受験票の一方、又は両方を紛失した場合は、以下の顔写真付き身分証明書（写）（1種類）をご提出ください。

- ・ 個人番号カード（おもて面の写し）※裏面（個人番号が記載された面）はコピーしない
- ・ 運転免許証（写）
- ・ 旅券（写）
- ・ その他の顔写真付き身分証明書（写）

《開示内容・方法》

〈個人成績の得点〉 大学入学共通テストと個別学力検査の成績の総合点を通知します。また、大学入学共通テスト教科・科目の成績（素点）も通知します。

〈個人成績の順位〉 ① 合格者には合格最上位者から20%幅刻みで、5ランクに区分し開示します。（合格者が10人未満の場合は開示しません。）

② 不合格者には不合格最上位者から20%幅刻みで、5ランクに区分し開示します。

〈調査書〉 写しを通知します。（指導上参考となる諸事項及び備考欄は除きます。）

〈合格者の最高点・平均点〉

受験生ポータルサイトに掲載します。

（<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/results-ippan-seiseki.php>）

ただし、合格者が10人未満の学科・系については、個人を特定できるおそれがあるので、開示しません。

（注） 個人成績等の開示は、受験者本人あての簡易書留で行います。



宇都宮大学

受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>
又は右図二次元バーコードからアクセスしてください。



宇都宮大学 学務部入試課

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

☎ 028-649-5112

※入学試験に関する問い合わせは、
原則として志願者本人が行ってください。
※受付時間：平日9：00～17：00